

大好評！ ユニオンアカデミー 地区連合や直加盟組合からもリクエスト

組合員を対象とした研修は重要です。

新入や若手組合員はもとより次期リーダーを対象に、また春季生活闘争や平和運動、政治運動に取り組むときに…。大きな産別・単組は自前で、様々な研修会・学習会を開催しています。しかし、地場中小の組合は、予算の制約もあり、なかなか研修会を開けません。

連合北海道は、地協や地区連合といった地域でのまとまりや、産別や単組、地域の労福協の主催するウェルフェアスクールにも「ユニオンアカデミー」として、講師を無料で派遣しています。

この2月末から3月、ユニオンアカデミーが3カ所で開催されました。



〔渡島地協〕

渡島地協は6年前から地場の中小組合を対象に開催しています。第6期は2月28日に15名の受講生で開校しました。

渡島ユニオンアカデミーの特徴は「顔を覚えられる人数・同じ受講生・年に3回受講」です。

一回の講座は90分を3コマ。年に3回ですから修了時には13時間・800分を超えます。

メニューは労働組合の基礎的な知識から、財務諸表の見方、コミュニケーションゲーム、そして有名な「模擬団交」と豊富。

アカデミーで労働組合の知識を学んで単組の役員とな。今までつながりの薄かった地域の組合員同士が「ユニオンアカデミー」同期生として知りあう。修了生が渡島の地域運動の担い手となり活躍しています。

〔登別地区連合〕

3月1日には登別地区連合主催の春季生活闘争集会。参加者約50名が参加し、60分1コマの「ユニオンアカデミー基礎編」が行われました。

基礎編の教材は、名刺ソフトで作成した「連合北海道ユニオンカルタ・基礎編」を使用する事が多く、グループに分かれ、このオリジナル・カルタで労働組合の基礎知識を学びます。

間違いの多かったグループには「罰ゲーム」が待っています。今回、講座終了後に行われるとの事でしたが…。

〔十勝農団労(地区連合直加盟)〕

3月14日、十勝農団労の青婦部が主催する学習会。未加盟の農協労組も参加し、約80名が「ユニオンアカデミー基礎編」を受講しました。

十勝でも地協が主催し、年に3回・1回60分2コマの「アカデミー」が開催されて3年目を迎えますが、今回の参加者は ほぼ未経験。

最初は「何が始まるのだろう」と困った顔の参加者も、途中で爆笑。おまけのアイスブレイクも追加され、90分後には「ニコニコ顔」で終了しました。



あなたの産別・単組、地域でもいかがですか？。講師派遣費用はかかりません。